

資 料 編

ポストコロナ時代における人口動態と社会変化の見通しに資する研究

背景・目的



社会への影響

人口動態への影響

- ・リモートワーク、オンライン授業・会議の普及
- ・外出の自粛、移動制限
- ・水際対策の強化
- ・出会いの場の減少、マッチングアプリの台頭
- ・働き方改革の進展、価値観の変化、etc.

- ・出生率の一段の低下
- ・平均寿命の意図しない変化
- ・外国人住民数の増加の停滞
- ・東京圏一極集中の鈍化、etc.

将来推計への影響

不透明な将来の社会情勢、人口動態
将来人口・世帯数推計の精度低下の懸念

新型コロナウイルスの社会、人口動態への影響を
国際的、歴史的、制度的な観点から検証する必要性

得られた研究成果をポストコロナ時代の将来
人口・世帯数推計に実装

研究方法

① 新型コロナウイルスの人口動態への影響に関する研究

- ・地域別新型コロナの感染状況と短期的な人口移動傾向変化に関する分析
- ・結婚・出生に関する意欲・行動に対する新型コロナウイルス感染拡大の影響に関するサーベイ
- ・2020～2025年死亡数の(将来)推計値の前回推計との比較
- ・新型コロナウイルス感染症拡大が国際人口移動に与えた影響に関する研究のレビュー
- ・結婚・出生意欲低下の要因分析
- ・X-13-ARIMA-SEATS法と(その他の手法一般を含む)死亡の季節性に関する実証研究の整理
- ・コロナ禍が地域別の人口移動および出生にもたらした影響の詳細分析
- ・新型コロナウイルス感染症拡大期以降の外国人の地域別分布および国内人口移動に関する分析
- ・新型コロナウイルス感染症拡大期以降の外国人人口の動向が地域人口の変動に及ぼす影響に関する分析
- ・新型コロナショック(発生～解消)の小地域人口への影響に何か特徴的なパターンを見出せるかについて、探索的検討
- ・結婚・出生の意欲及び行動の減退に対する政策的対応の考察

② コロナ禍およびコロナ後を見据えた将来人口・世帯推計モデルの開発

- ・国勢調査、住民基本台帳人口調査、人口動態調査等の各種人口統計(外国人統計を含む)の差の分析と推計情報収集(情報収集、分析、推計)
- ・ひのえうま等干支等の人口動向に非連続的影響を与える事象の影響分析と推計(情報収集、分析、推計)
- ・出生順位を考慮した配偶関係別多相生命表に関する研究のレビュー
- ・出生に対する期間効果の研究
- ・出生順位別配偶関係多相生命表に対応した出生・死亡モデルに関する研究
- ・出生順位別年齢パターンに関する研究
- ・出生モデルと統合した配偶関係別将来人口推計モデルに関する研究
- ・出生に対する期間効果の研究
- ・コロナ禍の影響を踏まえた地域別人口移動の将来仮定設定に関する分析

③ コロナの影響を踏まえた将来推計の政策的シミュレーションへの応用に関する研究

- ・小地域データを用いた人口減少時の人口変動メカニズムの解明とシミュレーション(情報収集、分析、推計)
- ・新型コロナ禍における介護サービス利用の地域差の分析(基礎的な分析、詳細分析)
- ・新型コロナ禍における介護サービス利用と家族介護の関係の分析(基礎的な分析、詳細分析)
- ・コロナが外国人受入れ動向や、外国人受入れに関する社会保障に与える影響に関するレビュー
- ・コロナ禍やコロナ後における外国人受入れ動向に対応した将来人口に関する研究
- ・ポストコロナ時代における外国人受け入れに関する社会保障シミュレーションに関する研究

期待される効果

短期的な効果

近年における人口動態変化の要因分解により、コロナ禍によってもたらされた人口動態の変化を抽出する。



社人研が実施する将来人口・世帯推計における各種の仮定設定に直接的に寄与し、高精度の将来推計値の提供が可能となる。

長期的な効果

主に歴史的な文脈のなかで、コロナ禍およびその社会や人口動態への影響を位置づける。



今後、類似の条件のなかでの将来推計においても、本プロジェクトで得られた研究成果が効果的に活用される。

